

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農商工連携		農・林・水産業	
		地域医療、福祉・介護、教育				観光・交流	
		地域コミュニティ・集落再生				環境	
		地域交通・情報通信				まちづくり	
ふりがな		さいとう かずなり					
氏名		齋藤 一成					
所属	名称	特定非営利活動法人アンプ					
	役職	理事長					
連絡	住所	(公開)	〒 996-0027 山形県新庄市本町2番15号				(職場)
		(公開)	E-Mail info[アットマーク]npo-amp.com				
	連絡先	(公開)	TEL 0233-29-2279		FAX 0233-29-3879		
		連絡方法					
略歴		<p>平成15年11月 山形県新庄市において全国発となる100円商店街を立案 平成16年 7月 山形県新庄市において全国発となる100円商店街を開催 平成18年 中小企業庁がんばる商店街77選に入選 平成22年 地域づくり総務大臣表彰受賞 平成27年 6月 まちづくり国土交通大臣表彰受賞 現在:総務省 地域力創造アドバイザー 中小企業庁 中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業派遣専門家 他</p>					
著作・論文等		<p>100円商店街の魔法((株)商業界) 100円商店街・バル・まちゼミ お店が儲かるまちづくり(共著)(学芸出版)</p>					
取組概要		<p>「商店街活性化三種の神器」の一つ、「100円商店街」を考案。これまでに、全国の132自治体約330商店街に対しそのノウハウを技術供与。最小で5千人未満の町や、商店街の店舗数10店舗未満の地域、様々な災害のあった被災地等でも事業を実施できる汎用性の高さも最大の特徴。 また、必要経費は単色のチラシ代のみというコストパフォーマンスの高さも特徴の一つ。「商店街の活性化とは、そこに在る個店の収益の増加」との見地から、高い収益性や爆発的な集客力を誇る事業へと進化させている。 全国平均で、1開催地当たりの平均集客数は1万人、来街者の平均購買額は1人@2千円であり、開催地には即日2千万円の経済効果を生むことが可能。 現在でも、100円商店街の導入を希望する地域が後を絶たない。 また、100円商店街から生まれた新たな活性化事業「クーポン券付日めくりカレンダー」や、「顔見し〜る」なども現在、全国の複数の地域で導入が進んでいる。</p>					
メッセージ		<p>この100円商店街という事業ほど、リスクの少ない事業も珍しいと思います。また、多くの導入地域から、良い意味で「人が変わる事業」との評価もいただいております、人材育成にも大きな効果が上がる事業です。 しかしながら、直接説明を聞いていただかないと、様々な誤解を招く可能性があります。「100円の物を売っても儲からない」「100円で売れる物がない」等、そういった誤解から招かれる問題等もすでに解決方法を準備していますので、ぜひお気軽にお問い合わせいただければと思います。</p>					
関連ホームページ		http://www.npo-amp.com/				活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールのお返事は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。